

学校だより

# 城北っ子



学校教育目標

- よく考え 進んで学ぶ子
- 心豊かな子
- ねばり強い子

那覇市立城北小学校

平成27年1月14日

第 9 号

校長 當山しのぶ

「かしこく・やさしく・たくましい城北っ子らしく育つ」  
 ～自分の夢やなりたいものを見つける～  
 ～夢は明日をよりよくする・夢は希望～



1月5日、城北っ子、職員一同新たな決意と抱負をもって二学期後半を迎えました。保護者の皆様、よい御年始を迎えられましたでしょうか。

2015年干支は羊年。学年では5年生です。羊年の人は温和で、困っている人を見るとほっとおかない思いやり深い人と言われています。人との争いや対立を好まず、人間関係は良好。物事は慎重に進め、石橋をたたいて渡る慎重派が多いようです。

2014年馬年は、「物事が“うま”くいく」「幸運が駆け込んでくる」など城北小学校は、全国学力テストで沖縄県、那覇地区で1番になる等学習面では充実した一年でした。

さらに、校長講話では【世界には命をかけて学校へ行く友だちがいること】を話しています。「学ぶこと」を一生懸命する城北っ子とどんな環境におかれても世界の子どもは「夢を持つ」では相通じるものがあります。ノーベル物理学賞に赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏の日本人3氏は、青色発光ダイオードの発明で世界の明日をよくする夢を実現させ叶えました。城北っ子の夢もかなうように応援し続けたいです。



城北っ子の夢を校長先生に教えてね

2015年  
あした(未来)が  
よくなる城北っ子の  
夢を育てましょう



## 6年生の夢一字

毎年恒例の夢一字、今年は字体に思いを工夫し表現



毎年恒例「キャリア教育」の一環として行われている夢一字。

今年は漢字一字に自分の思いを工夫して表現しました。書いた夢一字は職員室廊下に掲示されています。下級生は夢一字を見ながら漢字に込められた思いを感じ取ります。このあと夢一字はPTA新聞に卒業前顔写真と共に掲載されます。

「助」を書いた大地君(3組)。その思いは『感謝されることを大切に多くの人を助けたい』と願い、『小さな事を積み重ねて夢に繋げたい』と「積」を書いた友哉君(4組)。『一人でも多くの命を救いたい。命は何よりも重い』と「命」を書いた慎乃輔君(1組)。134名の夢一字、“なるほど”“さすがだね”“しっかり考えているね”と見る人に感動をあたえています。

ねて夢に繋げたい』と「積」を書いた友哉君(4組)。『一人でも多くの命を救いたい。命は何よりも重い』と「命」を書いた慎乃輔君(1組)。134名の夢一字、“なるほど”“さすがだね”“しっかり考えているね”と見る人に感動をあたえています。

## 2015年も保護者・地域・学習ボランティアに支えられて始まります『席書会』に18名のボランティア



「この字は、良く書けていますね」  
一人一人の字を見て頂きました。



道具の使い方、筆の手入れによって美しい字が生まれます。

毎年席書会では、「龍賓沖縄書道会」から18名の講師の先生をお迎えし、3年以上の毛筆の授業を見て頂いています。1年、2年生は硬筆の審査をして頂きました。講師の先生方から城北っ子の(1)礼儀正しさ、(2)挨拶、(3)意欲の高さ、を褒めて頂きました。

平成26年度  
総まとめにむけた  
仕上げが始まります  
学びを活かす  
教師の指導が子どもの姿に見える



ちいちゃん(知)  
「ぜったい、合格してね」

各学年「定着すべき事項」の取り組開始

平成26年度の総まとめの時期  
授業で学んだ事を活かせる城  
北っ子の育ちが見えてきました

た。学級、学年間差を無くし、先生方は、教えるべき指導内容を徹底して教えます。  
各学年では、定着すべき指導事項を設定しています。2月から学力月間が始まります。  
1年生は「20までの足し算・引き算」2年生は「かけ算九九」3年生「かけ算の筆算」  
4年生は「整数の除法、小数÷整数」5年生「小数のわり算」6年生「分数のかけ算、  
わり算」の試験に合格するまで取り組みます。昨年は802名が校長から合格後、認定証  
が授与されました。夢や希望を持って進級できるよう、児童、学校、保護者が一丸とな  
って取り組むプロジェクトです。1月13日からの「保護者会」で取組の説明を予定して  
います。冬休みの頑張りノートに校長コメントを記載しました。御協力に感謝致します。

